



令和3年度 果樹情報 第16号

(令和3年11月5日)

福島県農林水産部農業振興課



1 気象概況 (10月後半、果樹研究所)

平均気温は、4半旬が12.1℃で平年より2.3℃低く、5半旬が10.5℃で平年より2.6℃低く、6半旬が11.6℃で平年より0.7℃低く経過しました。4～6半旬の降水量は53.5mmで平年比114%と平年より多く、日照時間は75.8時間で平年比86%と平年より少なく経過しました。

2 土壌の水分状況

11月1日時点の土壌水分(pF値：果樹研究所なしほ場：草生・無かん水)は、深さ20cmで1.9、深さ40cmで1.9、深さ60cmで1.8となっており、適湿状態にあります(図1)。

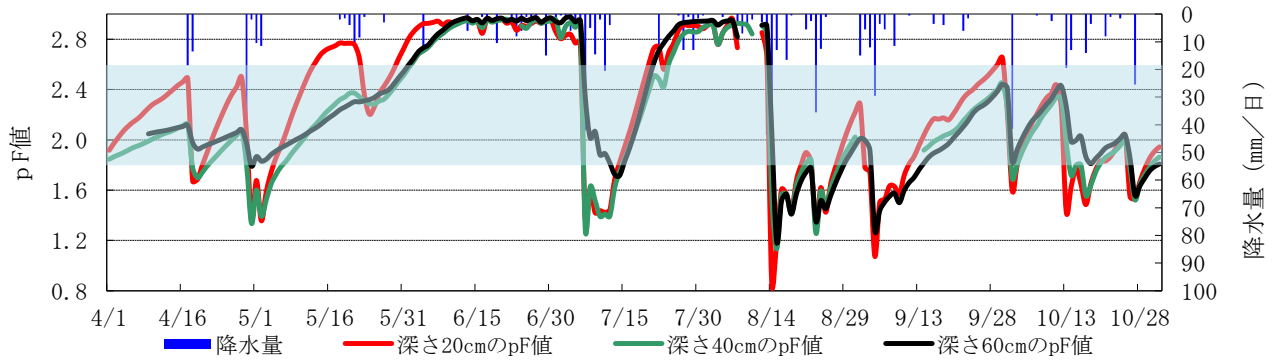


図1 土壌 pF 値の推移 (果樹研究所なしほ場：草生・無かん水)

図中の網掛け部は、適湿の範囲 (pF1.8-2.6) を示します。

3 発育状況 (11月1日現在、果樹研究所)

(1) りんご

ア 果実肥大

暦日で比較すると、「ふじ」は縦径が85.9mmで平年比102%、横径が94.9mmで平年比104%と平年並でした。

イ 主要品種の収穫期と果実品質

「王林」(マルバカイドウ台)の収穫盛期は、10月21日で平年より5日早く、果実重は317g、糖度は13.5° Brixでした。

表1 りんご主要品種の収穫期と果実品質

品 種	収穫開始日			収穫盛期			収穫終期			果 実 重			糖 度		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
つがる	8/24	8/27	8/25	8/24	8/31	8/26	8/31	9/6	9/2	301	285	244	13.8	12.8	12.8
シナスイート	10/5	10/6	10/5	10/12	10/10	10/8	10/19	10/15	10/13	340	344	252	15.3	14.7	16.0
王林	10/19	10/24	10/27	10/21	10/26	10/30	11/1	10/30	11/4	317	310	328	13.5	14.2	13.1
ふじ	未	11/14	11/11	未	11/17	11/15	未	11/25	11/24	未	358	305	未	15.5	14.1

注) 平年値は、「シナスイート」は2012～2020年、その他の品種は1991～2020年の平均。未は未確定。

ウ 「ふじ」の成熟状況

「ふじ」の満開後 193 日（10 月 29 日）の成熟調査では、硬度は 11.0lbs. で平年より低く、デンプン指数は 4.2 で平年より低くなっています（図 2、図 3）。果皮に含まれるクロロフィル含量は平年より高く、アントシアニン含量は平年より低くなっています（図 4、図 5）。

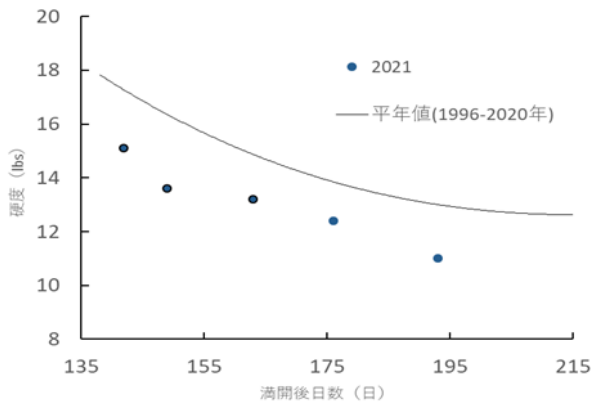


図 2 「ふじ」の果肉硬度の推移

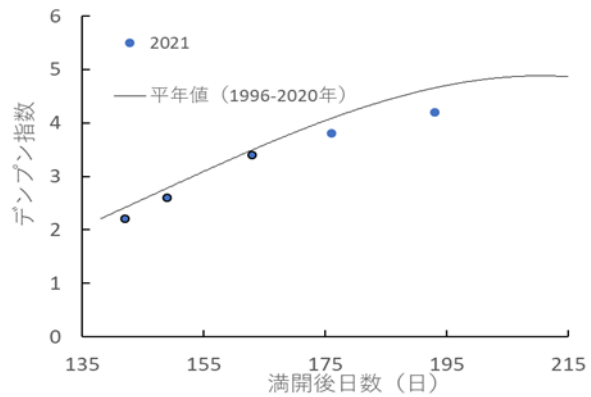


図 3 「ふじ」のデンプン指数の推移

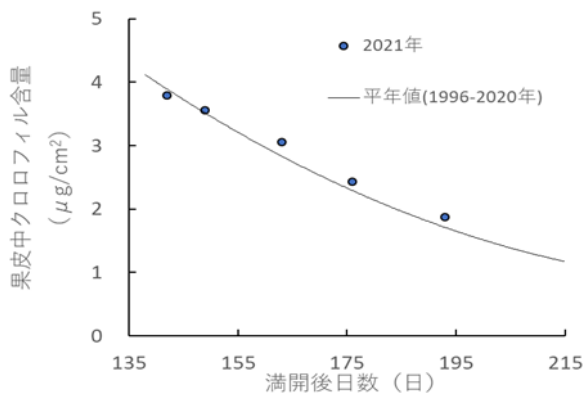


図 4 「ふじ」のクロロフィル含量の推移

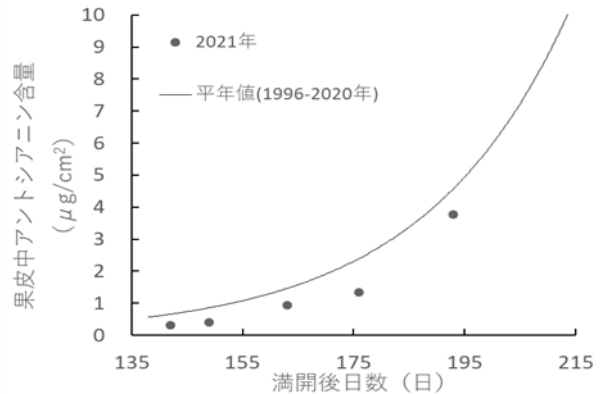


図 5 「ふじ」のアントシアニン含量の推移

気象庁 [営農活動に役立つ気象情報] <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/nougyou/nougyou.html>

4 栽培上の留意点

(1) りんご

ア 「ふじ」の収穫

生育日数からみた「ふじ」の果肉硬度は、平年より低く推移しています。収穫に当たっては、蜜入り、果実の着色、地色及び食味等により総合的に判断し、適期収穫に努めましょう。

5 病虫害防除上の留意点

(1) ナシ黒星病

秋期防除は、翌年の伝染源となるりん片への感染を予防するために重要です。特に、りん片生組織の露出（図 6）が多くなる時期（昨年の果樹研究所では 10 月中旬～11 月上旬）が重要な防除時期となります（図 7）。薬剤散布は、オーソサイド水和剤 80 を 600 倍に希釈し、2 週間間隔で 2～3 回散布（キャプタンの総使用回数に注意）し、最終散布は落葉率 80% ごろを目安に防除を行いましょう。なお、薬剤散布は降雨前の実施を心がけ、薬液が棚上まで十分量かかるよう丁寧に散布しましょう。

また、先端部付近はりん片生組織の露出が早く、感染の可能性が高いと考えられるため、冬季のせん定では先端部の切り戻しを徹底しましょう。

さらに、病原菌は罹病落葉でも越冬し、翌年の重要な伝染源となるため、落葉処理も併せて実施しましょう。

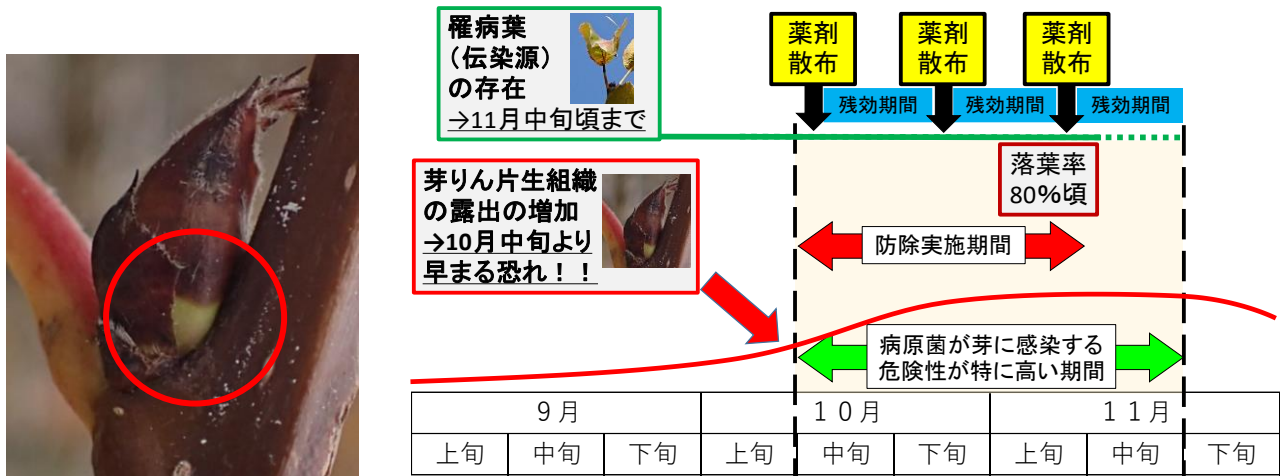


図6 露出した芽りん片生組織 (枠内)

図7 なし及び病原菌の生態に基づく秋期防除の考え方

病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行: 福島県農林水産部農業振興課 農業革新担当 TEL 024(521)7344

(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>